

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書


- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名

【 宮城県 】

1 実践テーマ	【 II IV 】
2 実施対象者	学校名：石巻市立渡波中学校 対象学年：全校生徒 人 数：317名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 (フェイスペインティング講習会) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目 標 (ねらい)	フェイスペインティングの活動を通して、オリンピック・パラリンピックについての理解を深め、ボランティア精神にあふれる生徒を育成する。
5 取組内容	日本フェイスペインティング協会の深井仁美氏を招き、フェイスペインティング講習会を実施。日本の国旗、五輪の輪、縦割りごとにデザインしたモチーフの3種類を、互いにペイントし合った。この活動の成果を、親子大運動会の応援合戦で披露した。 (1) オリンピックにおけるフェイスペインティングの効果 (2) 基本的なペインティング技術についての説明 (3) 日本の国旗と五輪の輪、縦割りのモチーフの描き方について



	
<p>6 主な成果</p>	<p>オリンピック・パラリンピックについての理解を深め、ボランティア精神の育成・向上を図ることができた。</p> <p>【生徒の感想より】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めてフェイスペインティングをやってみて、運動会で盛り上がる事ができたのでよかった。 ・顔や腕に描くのは難しかったけれど、みんなの気持ちがひとつになったように感じた。 ・2020年のオリンピックでフェイスペイントのボランティアをしてみたいと思った。 ・今度はもっと難しいモチーフに挑戦してみたいと思った。
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒がボランティア精神をもち、「地域貢献」につながる活動になるように、講話の内容に「地域貢献」について触れてもらった。 ・ボランティアへの興味・関心がより高まるよう、生徒に4級の認定証を配付した。
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・フェイスペインティングの歴史や意義、オリンピックとの関わりなどについて、保健体育の授業などで事前に学習することで、より理解が深まる。 ・行事とタイアップして進めていく際の、時間の確保。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>今年度の活動で、全校生徒がフェイスペイント協会から4級の認定を受けた。今後更に3級の取得に挑戦し、2020年東京大会において、フェイスペインティングのボランティアに携わりたいという生徒を増やしていけるような呼び掛けを行っていきたい。</p>